

ご存じですか?

ハチオシ!

頼れる身近な相談相手

民生委員・児童委員

地域の暮らしを守り、支える民生委員・児童委員。皆さんのお住まいの地域でも、さまざまな活動を行っています。また、市民目線で寄り添う市民後見人にも注目が集まっています。知っているようで意外と知らない活動内容をご紹介します。

問 地域共生推進課 ☎924-3835 FAX 922-3786 ID 1007768



表紙の後ろ姿は、八尾市民生委員児童委員協議会小林会長。市民モデルと和やかに撮影しました。



民生委員・児童委員
PRキャラクター ミンジー



幹事会の皆さん



パワフルな民生委員・児童委員の活躍は、八尾市の「おせっかい日本一」のまちづくりにつながります!



部会研修



登下校の見守り



子育て支援ひろば「はとぼっぼ」



商店街協力による高齢者への声かけ訓練



会議の様子



民生委員・児童委員の功労を称えた勲章や表彰があります



主任児童委員の皆さん

クイズやおQ

民生委員・児童委員が実施している、ひとり暮らしの高齢者の見守り活動をなんというでしょう?
ヒントはP3を、答えはP5をチェック!

各記事の詳しい情報は、市ホームページのページID検索に ID 7桁の番号 を入力すると、ご覧いただけます。



民生委員・児童委員って どんな人？



役員
の
皆
さん

八尾市の民生委員・児童委員
(令和7年4月1日時点)

人数 373名 (うち、28名は主任児童委員)
女性 221名 男性 152名
平均年齢 66歳

任期は3年。今年12月1日に全国一斉の改選があり、新たな任期がスタートします。改選にあたり、民生委員・児童委員の活動に興味のある人は地域共生推進課までお問合せください。

民生委員・児童委員は、安心して暮らせる地域づくりのために活動するボランティアです。厚生労働大臣から委嘱された非常勤の地方公務員として、生活の相談役や行政とのつなぎ役、高齢者や障がい者、子どもたちの見守り役などを担っています。全ての民生委員は「児童委員」として妊娠中や子育て中の支援も行い、一部は児童に関することを専門に担当する「主任児童委員」として活動しています。

どんな活動をしているの？

友愛訪問活動

65歳以上のひとり暮らし・寝たきり高齢者のお宅を訪問し、日頃から見守り活動を行っています。今年秋ごろには八尾市内一斉に実施の予定です。



ひとり暮らし高齢者が救急搬送された際に必要な情報をスムーズに伝えるための「救急キット」を民生委員・児童委員が配布しており、友愛訪問の際に、緊急連絡先などの情報を更新するよう声をかけています。



「救急キット」は緊急連絡先などの情報が記載されたシート、保険証や診察券の写しなどを円筒形のプラスチック容器に入れて、自宅の冷蔵庫に保管しておきます

担当の民生委員・児童委員をご存じない人は、ご連絡ください。
社会福祉協議会 地域福祉グループ
☎990-4567 FAX990-3206

部会活動

企画部会、広報部会、生活福祉部会、児童福祉部会、主任児童委員部会、障がい者福祉部会、高齢者福祉部会の専門部会があります。各部会がそれぞれの分野において、研修や講演、体験会など、知識の習得や地域福祉向上をめざした活動が行われています。



声かけ訓練



ポッチャ体験

登下校時の子どもの見守り

子どもたちが安全に登下校できるよう、小学校の通学時間に見守りを行っています。入学してすぐの新1年生の下校時には、一緒に通学路を歩いて帰ることもあります。朝には「いってらっしゃい」「いってきます」、帰りは「おかえり」「ただいま」と声をかけ合っており、子どもたちの様子を見守っています。



子育て支援ひろば「はとぽっぽ」申込不要 参加費無料

0歳～就学前の子どもとその保護者が、一緒に遊びながら楽しく過ごせます。歌や紙芝居など、企画内容もさまざま。子育ての相談や情報交換にもぴったりです。

令和7年度 開催スケジュール

※は8・1月の開催がありません

はとぽっぽ成法・高美※

東郷自治会館(東本町1-5-2)第1木曜10時～11時30分

はとぽっぽ用和

用和小学校区集会所(山城町3-1-46)
6・9・12・2月の第3土曜10時～11時30分

はとぽっぽ東

山本コミセン3階(山本町1-8-11)詳細はお問合せください

はとぽっぽ龍華※

龍華コミセン2階(南太子堂2-1-45)第3土曜[12月は第2]10時～11時30分

はとぽっぽ久宝寺※

久宝寺コミセン(北久宝寺2-1-1)第3土曜10時～11時30分

はとぽっぽ大正

大正コミセン2階(若林町3-27)第1木曜[1・3月は第2]10時～11時30分

はとぽっぽ高安※

高安コミセン2階(千塚3-180-2)第1木曜[2月は第2]10時～11時30分

はとぽっぽ曙川

曙川コミセン(八尾木4-11)詳細はお問合せください

はとぽっぽ志紀

志紀コミセン(志紀町1-8-2)6月3日10時～11時15分
以降の開催はお問合せください

社会福祉協議会 地域福祉グループ
☎990-4567 FAX990-3206



やりがい？うれしいことは？

役員さんにインタビュー！

民生委員・児童委員としての具体的な活動内容や、その役割を通じて感じるやりがいや喜びについて、八尾市民生委員児童委員協議会の5人の役員の方にお話を伺いました。

「ありがとう」の言葉が、何よりの励み。

八尾市に暮らして40年、地域への恩返しと考えて民生委員を引き受けました。いちばん大きな役割は、やはり見守り活動です。私の担当地域には、ひとり暮らしをしている高齢の人が多くおられます。最初に訪問した時には「何しに来てん」と言われたこともありましたが、それでも2度3度と訪ねるうちに、少しずつ心を開いて、話をしてくれるようになります。友愛訪問の際には「よう来てくれはりました」と喜んで迎えてくださると本当にうれしいですね。今後も民生委員を続けていくつもりですが、今年12月には一斉改選もあり、次の世代の人にもぜひこの役割を引き継いでいただきたいと思っています。



山下さん(副会長)
委員歴:12年目
所属:上之島中学校区地区

日頃から、お互いを気にかけてくれる地域に。

地域の子育て世代の交流の場を守りたいという思いから、コロナ禍で休止していた子育て支援ひろば「はとぼっぼ」を2年前に再開しました。小学校との連携にも力を入れており、家庭科の授業や新1年生の給食と下校の見守りなどをお手伝いしています。何かあったときに気軽に声をかけてもらえることがうれしいですし、先生や子どもたち、保護者とのつながりも深まっています。近所付き合いが希薄になったと言われるかもしれませんが、日頃からお互いを気にかけてくれる地域を作ることが、災害時の備えにもなると考えています。困りごとや悩みなど、誰に相談していいかわからないときには、地域の民生委員に気軽に声をかけてください。



小林さん(会長)
委員歴:24年目
所属:成法中学校区地区

同じ意識を持った仲間と共に、楽しみながら。

主任児童委員として、子どもたちの支援を行っています。困った状況にあるお子さんが適切な支援を受けられるように、地域や学校、行政と連携して活動しています。支援につながったお子さんが明るく元気になった姿を見ると、良かったと心から思います。登下校の見守り活動も20年を超えました。毎日見ていると子どもたちの変化に気づくことができ、気になる様子があれば声をかけたり学校に連絡したりしています。交通安全の見守りから始めた活動ですが、今では子どもたちの心身の見守りにも広がりました。大変なこともあります。同じ意識を持った仲間と協力しながら楽しく活動を続けています。



森下さん(副会長)
委員歴:21年目(主任児童委員)
所属:竹洲地区

存在を身近に感じてもらえることをめざして。

民生委員の活動や存在を知ってもらうため、チラシを積極的に活用しています。例えばコロナ禍で食事会の参加者が減少した際もチラシを作成して配布し、コロナ前以上の人が集まるようになりました。地域イベントに民生委員としてブースを出展するなど、子どもたちと関わる機会も増やしています。うれしかったのは、私が体調を崩したときに見守り対象の人や皆さんが気遣い、見守ってくださったこと。また、八尾市が実施したアンケートで困りごとの相談先として民生委員を選ばれた人が多く、地域の皆さんに困ったときの相談相手と認識していただいていることがわかり、大変励みになりました。



西川さん(副会長)
委員歴:24年目
所属:東中学校区地区

さまざまな団体と連携しながら活動を推進。

私の担当地域では、民生委員とボランティア会が協力して「ふれあいサロン」を開催しています。「ふれあいサロン」はひとり暮らし高齢者を中心とした昼食会で、食事の後に体操やゲームなどで楽しいひとときを過ごしています。参加された皆さんに「また参加させてもらいます」と言ってもらえることがうれしいですね。その言葉を聞いてみんなやる気になります。また、同じ地域の自治振興委員会と共に、災害時の要配慮者の安否確認を行う組織を作っています。さまざまな団体と連携することで、民生委員だけでは手が届かない部分をお互いにサポートしながら、地域福祉の向上に尽力しています。



坂上さん(会計)
委員歴:18年目
所属:南高安中学校区地区



同じ目線で寄り添い支える 「市民後見人」をご存じですか?

ID 1017399

◆市民後見人とは

家庭裁判所から成年後見人として選任された市民のことで、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことをめざす地域福祉活動として行っています。同じ地域の市民としての特性を生かした活動は、成年後見制度の重要な担い手として期待されています。

本市は「おせっかい日本一」を掲げており、市民目線で寄り添う市民後見人は、八尾の「おせっかい精神」を体現するものです。この市民同士で支え合う活動に、今注目が集まっています。



◆市民後見人に聞いてみました!

Q. やりがいは何ですか?

活動を通じてたくさんのことを学び、人としての優しさにふれ、元気をいただくことです。面会の後には、ほっこりと温かい気持ちに包まれます。

Q. 興味がある人へのメッセージをお願いします。

市民後見人は、認知症になっても、障がいがあっても「自分らしく暮らしたい」を支える活動です。後見人として活動する時は、専門職にサポートしてもらえるので安心です。仲間もたくさんいて、市民後見人同士の交流もできます。一緒に始めてみませんか?

市民後見人として活動している
谷元さんにお話を伺いました!



活動の記録もご覧ください /

心あたたまるエピソードがたくさん! 「市民後見人活動記録集」を公開しています

本市の市民後見人の活動記録では、市民後見人になったきっかけや、実際の活動を通じて感じたこと、印象的な出来事など、やりがいに満ちたエピソードが本音でつづられています。ぜひご覧ください。



笑いあり涙ありの感動エピソードは社協権利擁護センターホームページで閲覧できます。動画もあります

参加者大募集!

令和7年度 市民後見人養成講座オリエンテーション

あなたも市民後見人になりませんか?
興味のある人は、まずはオリエンテーションにご参加ください!

日時 6月28日(土) 14時~16時10分

場所 文化会館

市民後見人養成講座の開講に先立ち、その趣旨と内容をご理解いただくため、オリエンテーション(事前説明会)を開催します。下記までお気軽にお問合せ・お申込みください。

参加費
無料



市民後見人養成講座を受講し、「市民後見人バンク」に登録された際には、市民後見人活動PRバッグがもらえます!

市民後見人について、もっと具体的に知りたい!
という方は、下記までお問合せください。

社会福祉法人 八尾市社会福祉協議会 権利擁護センター「ほっとネット」
八尾市立社会福祉会館(本町2-4-10)
☎924-0957 ㊚924-0974 ✉kenriyogo@yaosyakyo.org



社協権利擁護センター
のホームページ

クイズやおQの答え

答えは「友愛訪問活動」。ひとり暮らし・寝たきり高齢者やその家族が地域で孤立しないよう、お宅を訪問します。